

二子玉川を Wikipediaタウンにしよう！

主催：クリエイティブ・シティ・コンソーシアム

協力：駒沢給水塔風景資産保存会、東京ウィキメディアン会、

横浜オープンデータソリューション発展委員会、

OpenStreetMap Japan

開催概要

- 日時：6月22日（土）13：30～18：00
- 会場：二子玉川 カタリストBA
- 主催：クリエイティブ・シティ・コンソーシアム
- 協力：
 - 駒沢給水塔風景資産保存会
 - 東京ウィキメディアン会
 - 横浜オープンデータソリューション発展委員会
 - OpenStreetMap Japan




本イベントは、横浜市で継続開催中のワークショップ「横浜をWikipediaタウンにしよう！」の連携企画です。

今回、二子玉川での初開催にあたっては、かつて二子玉川と渋谷を「繋いだ」重要な都市インフラであった「渋谷町水道」をテーマに、世田谷区地域風景資産でもある「駒沢給水塔」等の渋谷町水道関連施設についてWikipediaページとOpenStreetMapの地図データを作成します。

http://creative-city.jp/news/2013/0618_093330.html

横浜で継続開催中のワークショップを二子玉川でも開催

http://www.solabo.net/wiki0525/



図書館の書籍と、まちの資源を編集していく。

0525 sat

横浜を Wikipedia タウンにしよう!

Wikipediaを活用し、横浜の街にでて情報をアップデートするワークショップを開催します。新しい公共の取り組みとして、横浜LOVEな人こそ、参加して欲しいと思っています。

まずは歴史の建造物や、横浜にある有名なエリアの資源を、追記する形で始めたいと思います。

簡単に言ってしまうと、観光でも、日常生活でも、知りたい情報が引き出しやすい、街にしようという試みです。



成果の例

対象：横浜市認定歴史的建造物

作業方法：会場である 横浜市立中央図書館 で文献調査後に現地調査（写真等撮影）を行い、それら調査結果をWikipediaページとして取り纏める



ヨコハマ創造都市センター

ヨコハマ創造都市センターは、横浜市の「文化芸術創造都市・横浜」推進の事業を行っている文化施設である。People（人々が集う場所）、Creative（誰もが創造的になれる場所）、Open（情報が行き交い、クロスする場所）をコンセプトに2000年4月1日よりスタート。横浜市内で開催されるアートイベントや教育事業、アートを通じたコミュニティ活動などが行われており、公益財団法人横浜市民文化振興財団が運営・管理を行っている。

目次

- 1 建物
- 2 歴史
- 3 目的と機能
- 4 経緯
- 5 アクセス
- 6 脚注
- 7 外部リンク

建物

1982年に第一銀行横浜支店として建造。別荘を営んだ山内朝の「山内邸」が特徴である近代ロマンの建築様式「スクラップ・スタイル」の建物である^[1]。2000年の移転・改築を経て、2004年に横浜市が推進する歴史的建造物を活用した芸術文化創造の実験的プログラム都市創生的建造物活用事業^[2]によって再活用がはじまった。

歴史

1982年（昭和57年）に第一銀行の横浜支店として竣工。第一銀行副理事長の西村邦時氏による設計。



インド水塔

インド水塔（インドの塔）とは、神奈川県横浜市中区の山下公園内にある、インド式の水塔み塔である。開港大業で使った莫大の資金がインド人が帰郷のために横浜地に寄贈した。横浜市認定歴史的建造物に認定されている。

目次

- 1 インド水塔の建築経緯
- 2 建築様式の特徴
- 3 脚注
- 4 参考文献

インド水塔の建築経緯

インド水塔の建築の契機は、1823年（文政12年）の開港大業の賑いに関わりがある。開港当時、横浜に在籍し、滞在した日インド人教士のため、当時の横浜市長は横浜人への仕向の手当でタリに力を入れた。1826年（延享4年）、在日インド人協会は横浜市民による教育への推進と同様の懸念のためこの塔を建立した。設計は建築家、施工は清水組^[1]。

建築様式の特徴

設計は横浜市の第四代日蓮宗評長で同宗会がパトにも携わった 建築家であり、イサムノボリ海軍少佐の指導による「ラズ」(ラズ)建築家と設計する対立スズキのモニュメント^[2]、イサムノボリ、イサムノボリ、日本軍が設計したデザインが特徴的で、東京の築地本願寺を見せるような形であるとの評もある^[3]。横浜府認定歴史的建造物。

私達は Wikipedia を日頃身近に活用している



検索エンジン等での基礎的情報として

二次利用可能なオープンデータとして



Wikipediaタウンとは？



Author: Mrjohncumings

写真はウェールズの Monmouth



Author: Monmouthshire County Council

文献資料等へのWeb索引
としてもWikipediaが機能

市民が地域歴史
資産等を
Wikipedia化



図書館や
博物館等との
連携

Webに展開されていない
地域資料/文献など

歴史的建造物等の地域資産に関する解説
記事をWikipediaページ化&更新。
来訪者が、今いる場所に関する当該記事に簡単にア
クセスすることができる仕組み等も

オープンストリートマップJAPAN とのコラボレーション

地図+百科事典

オープンな地域情報の創造・深耕

OpenStreetMap

地域情報のベースを作成

Wikipedia

地域情報の詳細を記述

「ツナグ」サイクルを構築

人的交流

ナレッジ
継承

アプリ
開発

街づくり ...

オープンな地域情報の活用

対象となる世田谷区地域風景資産



砧下浄水場
世田谷区地域風景資産



渋谷町水道



駒沢給水塔
世田谷区地域風景資産
土木学会選奨土木遺産

ワークショップ当日の状況

① ガイダンス



③ 記事執筆



③ 地図データ作成



② 現地調査



ワークショップの成果~Wikipedia

砧下浄水所

いずれもワークショップの
当日に新規作成

砧下浄水所

砧下浄水所(さかたしもじょうすいじょ)は、東京都世田谷区の浄水場。東京市への配水を担う渋谷川水道の浄水場として大正12年に竣工し、戦前-戦後を通して東京市に配水を送り、2019年現在も駒沢浄水場の備蓄田水の供給を担っている。

目次 [非表示]

- 1 歴史
- 2 計画-竣工
- 3 竣工
- 4 影響-評価
- 5 脚注
- 6 参考文献

歴史 [編集]

明治時代、日清戦争-日露戦争を経て東京市は爆発的な経済発展を遂げ、人口の増加に伴い、水道の整備が急務であった^[1]。政府は明治42年(1909年)四月、中島健二博士らに水道調査と建設の計画策定に関する調査を委託した^[1]。これが、我が国において大規模な近代水道を整備する始まりとなった^[1]。後に水道整備を加速するため、東京市による水道高利均改正が大正2年(1913年)に行われた^[1]。それまでの水道事業では、たとえ民間水道会社が水道を敷設したとしても、一定期間後に当該市町村に水道を移譲しなくてはならない条件がつけられていた^[1]。このため、それまで民間水道会社の設立-参入には消極的な向きがあったが、所定期間後の移譲を有償にする等の改正によって、民間水道会社の設立が促された^[1]。これにより最初に設立されたのが、砧下浄水場を建設した王子水道株式会社である^[1]。

計画~竣工 [編集]

砧下浄水場は、駒沢給水所とともに、大正6年に計画がなされ、大正10年に着工、大正12年に竣工した(駒沢

砧下浄水所
Kasugashimo Purification Plant (1/1)

所在地 東京都世田谷区鎌田2丁目4-1
 北緯35度37分25秒
 東経139度36分54秒

<http://ja.wikipedia.org/wiki/砧下浄水所>



コマQ様より資料提供
とアドバイス有り

駒沢給水所

駒沢給水所(こまぎわきょうすいじょ)は、東京都世田谷区鎌田にある東京都水道局の給水施設。旧渋谷町明堂の給水所として使われていた。敷地内には、2002年12月に世田谷区の第一回地域風土調査に選定された駒沢給水塔(かつては「駒沢配水塔」と呼ばれていた)がある。

独特の意匠と、筒のシンボルとして地域住民に愛されていることが評価され、平成24年度の公益社団法人・土木学会の土木学会賞賞土木遺産に選ばれた^[1]。給水は東京都が創業性が確認された給水所は外観を及えずに確保し、備前のポンプ房や配管を更新し、再び地域の給水拠点として整備する^[1]。世田谷区地域風土調査にも認定されている^[1]。

目次 [非表示]

- 1 給水場
- 2 配水塔
- 3 電動水位計
- 4 橋下貯留
- 5 テンテュリ-ゲーター
- 6 参考文献
- 7 外部リンク

給水場 [編集]

給水場は東京府府原郡駒澤町字明堂に作られた。場内に二基の配水塔を設け貯水している。その水位は電動水位計により常に給水場事務所に表示している。配水本管は場内配管本線より(体)渋谷町まで伸びている。その途中にベンチュリーターを配置し給水量及び水位を記録している。場内には事務所棟、公舎三棟を設け、将来さらに配水塔を増設するための敷地も確保している^[1]。

配水塔 [編集]

駒沢給水塔

情報	
旧名称	駒沢配水塔
用途	給水塔
設計者	中島健二
構造設計者	岩崎寛久
事業主	東京都水道局
管理運営	東京都水道局
構造形式	鉄筋コンクリート造
高さ	29.91m
竣工	1923年 2月(第1号塔) 1923年 11月(第2号塔)
登録国	1924年
所在地	〒154-0016 東京都世田谷区鎌田2丁目41-5
位置	 北緯35度37分25秒

<http://ja.wikipedia.org/wiki/駒沢給水所>

ワークショップの成果~OpenStreetMap



駒沢給水所

いずれもワークショップの
当日に新規作成

<http://www.openstreetmap.org/browse/way/116432453>



コマQ様より資料提供
とアドバイス有り



砧下浄水所

<http://www.openstreetmap.org/browse/way/226915977>

ワークショップの成果~相互連携

Wikipedia

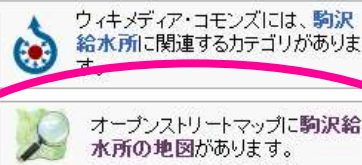


双方がオープンデータとして
二次利用が可能かつ
グローバルなWeb基盤

マップから
Wikipediaを参照



blanch/3_56.shtml



Wikipediaから
地図を参照

OpenStreetMap

ワークショップの成果～記事掲載

トップページ > 文化・エンタメニュース一覧 > ウィキペディアタウンを作ろう

ニュース詳細

☆ ウィキペディアタウンを作ろう

6月24日 12時57分



地域にある文化財や観光名所などの情報を、インターネット上の百科事典「ウィキペディア」に掲載することで、より多くの人に自由に利用してもらい、地域の活性化などにつなげていこうという取り組みが始まっています。

ウィキペディア・タウンにしよう

「ウィキペディア」とは、インターネット上で運営されている非営利の百科事典で、一定のルールを守れば誰もが記事を編集することができ、掲載された情報は自由に利用することができます。

22日、東京・世田谷区では、「二子玉川をウィキペディア・タウンにしよう」というイベントが開かれ、およそ30人が参加しました。イベントでは、世田谷区の地域風景遺産に指定されている「駒沢給水塔」など地元の文化財をウィキペディアに掲載する取り組みが行われました。まず、地元の保存会の人たちが文化財の由来や写真などを紹介したあと、参加者は実際に現地を訪ねて写真などを撮影しました。このあと、保存会や図書館などから提供された資料を基に、ウィキペディアの編集経験がある人の指導を受けながら、記事を編集する作業を行いました。作業は4時間ほどで終わり、駒沢給水塔などの記事が新たに掲載されました。

また、イベントでは、ウィキペディアの地図版といわれる、インターネット上に共同で地図を作製するブ



主要ニュース

- 区割り法案 衆院で再可決・成立
- 全米簿の上村会長 改革めどつけば辞任
- 藤田麻治の未発表作 世界初公開へ
- 推新 石原・橋下体制で参院選へ
- 銀座の飲食店ビルでばや
- 露 日本より中国への依存度高く
- ウィキペディアタウンを作ろう

Facebookページはこちらから
気になるニュースは いいね! をクリック
NEWS WEB

WEB特集

- どうなる“秋入学” 東大が見送り
6月21日（金）
- “世界最高水準”は実現するか
6月20日（木）
- G8サミット閉幕 その成果は?
6月19日（水）
- 新大統領でイランは変わるか
6月18日（火）
- ワクチン接種 勧奨中止の波紋
6月17日（月）

アクセスランキング

6月24日 6月23日 一週間

- 都議選 自民全員当選で圧勝 民主大敗
- 都議選 自民 候補者全員が選挙確保
- 民主 共産を下回り都議会第4党に
- マンデラ元大統領 皇墓に伏誦
- 白公は勢いを参院選に 民主は崩壊
- 北朝鮮 ケソン核施設地区が世界遺産に
- 都議選 自民第1党確実 白公で過半数へ

●はその日のニュース

TOPへ戻る